

竹原市地域公共交通計画策定のための意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

令和6年度に「竹原市地域公共交通網形成計画」の計画期間が終了することから、地域の持続可能な地域公共交通サービスの提供を将来的に確保するため、地域の実情に応じた地域公共交通の今後のあり方を示した令和7年度からの5年間の計画の策定作業を進めており、次期計画の案について、市民等の意見を求めるため、パブリックコメントを行いました。

実施期間	令和7年2月6日（木）～令和7年3月7日（金） 30日間
意見を提出できる人	市内に住所を有する人、市内に存する事務所又は事業所に勤務する人、市内に事務所又は事業所を有する個人及び法人並びにその他の団体、市内に存する学校に在学する人、その他利害関係のある人
閲覧場所	市役所企画政策課、忠海支所、市ホームページ
周知方法	市ホームページ
意見提出状況	3名（意見数3件）

頁	意見の概要	市の考え
34 82	宿根地区においては、高齢化や疾病により車を運転ができなくなった住民が増え、令和6年度の福祉タクシー利用者は現時点で延べ44人と増加しております。当地区では、公共交通機関が全くなく、徒歩で市中心部に出るには健常者でも1時間以上かかります。高齢者にとって、福祉タクシーが通院のため欠かせない交通機関となっており、今後、免許返納を予定している住民、近い将来に福祉タクシーの利用を希望する住民も多くいます。こうした現状を踏まえ、計画における宿根地区の福祉タクシーの継続について再検討お願いしたい。	ご意見いただいた点については、今後、福祉タクシーの廃止を検討しているものではなく、今後の目標である「高齢者等の暮らしを支える公共交通の維持・確保」に向け、展開する「ニーズに合わせた運行内容の見直し」の施策の中で、より良い交通網を形成するため、現状の交通網の再編を検討するものです。
77	現況値が公共交通に係る値であるにもかかわらず、公共交通と関連が薄い他分野を含む総合計画の各分野の平均値が目標値としていることは適当でないのではないかと。	ご指摘の内容を踏まえ、次のとおり目標値及び説明文を次のとおり見直しました。 ・目標値 15.4%（令和10年度） ・説明文（2つ目○） 目標値の設定にあたっては、同設問における「良くなった」「やや良くなった」と回答した人の割合を5ポイント転換することを目指します。
88	案にあります、学校対象の乗り方教室だけでなく、園児対象のイベントなども加えていただければ、と思います。子どものときから公共交通機関に慣れ親しむことで、よいイメージを持って成長して欲しいです。園児の描いた絵をバス車内や船、駅構内などに掲示することで利用促進に繋がるのではないのでしょうか。 交通事業者には負担を強いることにはなりますが、子どもたちが集まる市が開催するイベントにバスなどが来ていると、ひろしまバスまつりやトラックまつりのように子どもたちは喜ぶと思います。 また、市のラインで公共交通関連の情報発信が少なく、計画（案）においても交通事業者が取り組まれているサービスなどの認知度も低いので、市のラインを活用して、情報発信していただきたいです。 少子化で更に乗車人口が減ることは避けられないと思いますが、今後も公共交通を維持していくために、バスや船のアナウンスを、子どもの声を録音したものを使用してもらう、センターの健診などに親子で来られるときは保護者分の運賃を助成するなどの公共交通機関を利用する機会を作る取組を実施してはいかがでしょうか。	公共交通の利用促進に対する施策について、今後は、様々な方を対象にしたモビリティマネジメントや待合環境の装飾など、関係団体と連携し取り組むとともに、運賃定額バスの実証運行や公共交通に係る積極的な情報発信などに取り組み、持続可能な公共交通サービスの構築に努めます。